

専門分野を生かした職務関連の社会貢献等について

Other Relative Activities

1. 講義

- 川西徹, 「化学薬品の品質評価」, 星薬科大学 (2015.5)
- 川西徹, 「医薬品の安全性評価について - 非臨床毒性試験の規制における役割-」, 大阪大学薬学部 (2015.6)
- 川西徹, 「健康・医療戦略におけるレギュラトリーサイエンスの役割」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2015.7)
- 合田幸広, 「生薬及び漢方製剤の品質確保」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.6)
- 合田幸広, 「食薬区分と違法ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2015.9)
- 合田幸広, 「国立衛研薬品部の仕事と研究」, 昭和薬科大学大学院 (2015.10)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2015.11) .
- 伊豆津健一, 「錠剤などの生物学的同等性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.6)
- 阿曾幸男, 「医薬品の安定性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.6)
- 坂本知昭, 「品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.5)
- 坂本知昭, 「分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.5)
- 香取典子, 「統計学的評価法」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.5)
- 小出達夫, 「理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2015.5)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保～抗体医薬品の副作用～」, 高崎健康福祉大学評価医療科学講義 (2015.5)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科講義 (2015.7)
- 石井明子, 「バイオ医薬品概論」, 横浜市立大学生命医科学研究科講義 (2015.10)
- 日向昌司, 「抗体医薬品の薬効発現に影響する因子に関する研究」, 明治薬科大学薬学部 (2015.5)
- 花尻(木倉)瑠理, 「指定薬物の現状と違法ドラッグの分析法について」, 平成27年度指定薬物分析研修会議 (2015.11)
- 内山奈穂子, 「危険ドラッグ製品の分析及び成分の同定について」, 平成27年度指定薬物分析研修会議 (2015.11)
- 田中理恵, 「指定薬物の分析法とデータベースについて」, 平成27年度指定薬物分析研修会議 (2015.11)
- 緒方潤, 「植物系危険ドラッグ製品の基原植物について」, 平成27年度指定薬物分析研修会議 (2015.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療/細胞治療に用いられる細胞の「品質」とは」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科 創薬生命科学特別講義 (2015.6)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞の「品質」とは」, 大阪大学大学院薬学系研究科レギュラトリーサイエンス連携講義 (2015.6)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講義 (2015.9)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療における「細胞の品質」とは?」, 群馬大学大学院医学系研究科未来医療集中講義演習 (2015.12)
- 澤田留美, 「再生医療等製品の品質・安全性・有効性の確保のための研究」, お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 栄養化学特論 (2016.1)
- 内藤幹彦, 「プロテインノックダウン法の開発と創薬への応用」, 平成27年度慶応大学薬学部 バイオと医療・ゲノム医学 (2015.5)
- 内藤幹彦, 「標的医薬品の創製」, 平成27年度昭和薬科大学講義 (2015.5)

- 内藤幹彦, 「遺伝子治療の歴史と未来」, 平成27年度東京大学薬学部 細胞生物学特論 (2015.9)
- 鈴木孝昌, 「大学院特別講義」, 横浜市立大学大学院 (2015.10)
- 新見伸吾, 「医療機器概論」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2015.7)
- 酒井信夫, 「食物アレルギーってなんだ?」, 平成27年度世田谷区立用賀小学校夏季体験的学習講座 (2015.7)
- 河上強志, 「身近な家庭用品の安全性」, 東京農業大学大学院 (2016.1)
- 渡邊敬浩, 「国際的に認められる分析結果の品質」, 平成27年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2015.5)
- 松田りえ子, 「ISO/IEC17025に基づく試験結果の信頼性保証」, 平成27年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2015.5)
- 根本了, 「食品に残留する農薬等の規制と公示試験法について」, 国立保健医療科学院平成27年度短期研修食肉衛生検査研修 (2015.6)
- 渡邊敬浩, 「妥当性確認の理想と現実」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成27年度精度管理研修会 (2015.7)
- 片岡洋平, 「ミネラルウォーター類の検査に用いられる分析法について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成27年度精度管理研修会 (2015.7)
- 穂山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2015.7)
- 根本了, 「残留農薬等試験法について - 畜水産物を中心に -」, 第33回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会 (2015.10)
- 穂山浩, 「先端研究成果からの事業化」, 三重大学大学院地域イノベーション学科 (2015.10)
- 穂山浩, 「食品部の紹介」, 昭和薬科大学生の早期体験学習としての研究機関見学 (2015.10)
- 穂山浩, 「食品中アレルゲンのリスク評価」, 東京農工大学工学部 (2015.11)
- 穂山浩, 「食品中の検査方法の国際的なハーモナイゼーション」, (公社) 日本食品衛生協会 2015年度『食品の輸出推進に係る講習会』 (2015.12)
- 穂山浩, 「食品分野のレギュラトリーサイエンス」, 東京大学農学部 (2015.12)
- 渡邊敬浩, 「食品規格への適合を目的とした検査におけるサンプリングの意味と役割」, 平成27年度食品安全に係る科学セミナー (2016.1)
- 根本了, 「食品中の残留農薬等の公示試験法の開発について」, (一社) 研究産業・産業技術振興協会先導技術研究会「食の安全専門調査研究会」 (2016.1)
- 根本了, 「食品中の残留農薬等公示試験法開発に関する最近の動向について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成27年度残留農薬等研修会 (2016.1)
- 鍋師裕美, 「食品中の放射性物質への対応について」, 大阪大学薬学部食品安全学講義 (2016.1)
- 渡邊敬浩, 「国際的にも通用する分析結果の品質」, 中国四国厚生局平成27年度検査精度管理業務研修会 (2016.2)
- 渡邊敬浩, 「国際的にも認められる分析結果の品質」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成27年度業務管理研修会・東京 (2016.2)
- 渡邊敬浩, 「国際的にも認められる分析結果の品質」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会平成27年度業務管理研修会・大阪 (2016.2)
- 片岡洋平, 「食品のヒ素分析と摂取量推定」, 第33回土・水研究会・つくば (2016.2)
- 穂山浩, 「食品部の紹介」, 埼玉県の高校生を対象とした所内見学 (2016.2)
- 大概崇, 「天然物概論 (7) 食品と天然物化学」, 千葉大学 (2015.11)
- 杉本直樹, 「天然有機化合物の機器分析法に関する研究」, 明治薬科大学健康薬学コース (2015.5)

- 杉本直樹, 「定量NMRとは?」, 星薬科大学大学院 (2015.10)
- 六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装の材質とその特性」, 実践女子大学 (2015.12)
- 六鹿元雄, 阿部裕, 「過マンガン酸カリウム消費量, TOCの実習」, 器具・容器包装研修会 (2015.11)
- 河村葉子, 「食品包装及び包装材料の安全性と法規制」, 日本包装技術協会平成27年度包装アカデミー (2015.9)
- 河村葉子, 「食品添加物の開発と規制」, 東京農工大学 (2015.10)
- 河村葉子, 「食品用器具・容器包装における法規制」, 東京農工大学 (2015.12)
- 朝倉宏, 「家畜微生物学」, 東京農業大学 (2015.4)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の疫学と食肉・食鳥肉衛生に関わる課題」, 国立保健医療科学院食肉衛生検査研修 (2015.6)
- 朝倉宏, 「浅漬け製造施設におけるリステリア・モノサイトゲネス汚染実態の検証と衛生規範改正前後での指標菌数ならびに菌叢動態の比較解析について」, 帯広畜産大学特別講義 (2015.11)
- 朝倉宏, 「浅漬けやスプラウト等の農産物の衛生管理」, 東京農工大学レギュラトリーサイエンス学 (2015.11)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の分子疫学」, 岐阜大学大学院獣医学特別実験III実践実習 (2015.12)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン」, 明治薬科大学特別講義 (2015.4)
- 大城直雅, 「下痢性貝毒 (オカダ酸群) の新規制値と検査法」, 厚生労働省食品安全部平成27年度食品安全行政講習会 (2015.5)
- 大城直雅, 「下痢性貝毒 (オカダ酸群) の新規制値と検査法」, 厚生労働省食品安全部平成27年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2015.5)
- Oshiro N, "Occurrence of ciguatera fish poisonings in Japan and development of LC/MS analysis of ciguatoxins", Graduate Seminar of Faculty of Pharmaceutical Sciences, Prince of Songkla University (2015.9)
- 大城直雅, 「食中毒化学 (海産自然毒)」, 麻布大学特別講義 (2015.12)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン」, 国立保健医療科学院平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 大城直雅, 「下痢性貝毒の分析についての現状と課題」, 平成27年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2016.2)
- 岡田由美子, 「リステリア・モノサイトゲネスの試験法」, 国立保健医療科学院平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 野田衛, 「ノロウイルスに関する特別講義」, 北里大学特別講義 (2015.9)
- 野田衛, 「ノロウイルスの検査法」, 岩手大学特別講義 (2015.7)
- 野田衛, 「ウイルス性食中毒について」, 明治薬科大学特別講義 (2015.4)
- 野田衛, 「ウイルス性食中毒について」, 国立保健医療科学院平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 工藤由起子, 「腸管出血性大腸菌 (6血清群) の検査法の実習」, 日本食品衛生協会 (2015.6)
- 渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査 —異物としての真菌とその同定—」, 国立保健医療科学院平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.2)
- 渡辺麻衣子, 「同定ができる標本作製」, 第36回セミナー (NPO法人カビ相談センター) (2016.3)
- 渡辺麻衣子, 「発酵・腐敗・カビ毒 - 食とカビの不思議 -」, 平成27年度第2回サイエンスカフェ (さいたま市保健福祉局) (2016.3)
- 大西貴弘, 「食中毒から身を守ろう～最近話題の食中毒の現状と対策～ 寄生虫性食中毒について」, (一社)川

- 崎市食品衛生協会公開講座 (2015.11)
- 大西貴弘, 「寄生虫による新しい食中毒」, 岐阜大学・獣医学特別実験Ⅲ 実績実習 (2015.12)
- 大西貴弘, 「生食を原因とする新しい寄生虫性食中毒」, 大阪大学薬学部食品安全学特別講義 (2015.12)
- 大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 国立保健医療科学院平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 菊池裕, 「原因不明食中毒と医薬品の微生物学的安全性確保について」, 明治薬科大学薬学部 (2015.4)
- 菊池裕, 「レギュラトリーサイエンス講座薬食衛生微生物分野講義」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2015.6)
- 菊池裕, 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み, 「iPS細胞等由来樹状細胞を用いたエンドトキシン等発熱性物質検出法の開発ーオゾン過酸化水素混合ガス滅菌法とエンドトキシン等発熱性物質不活化に関する研究ー」, 平成27年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2016.2)
- 近藤一成, 「きのこによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成27年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 近藤一成, 「次世代遺伝子組換え技術」, 国立保健医療科学院平成27年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2016.1)
- 安達玲子, 「基礎から学ぶ特定原材料表示～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所食物アレルギー検査実習 (2015.7)
- 春日文子, 「食品安全におけるリスクアセスメント」, 国立感染症研究所FETP初期研修講義 (2015.4)
- 春日文子, 「食品媒介有害微生物のリスクアセスメント・予測微生物学」, 京都大学農学部「食品安全学Ⅱ」講義 (2015.5)
- 青木良子, 「医薬品を安全に使うために, 海外の副作用情報を利用する」, 東北大学薬学部感染症学講義 (2015.11)
- 畝山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部 (2015.6)
- 畝山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第40, 41期食品保健指導士養成講習会 (2015.7, 2015.11)
- 畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 愛媛大学教育学部 (2015.7)
- 畝山智香子, 「リスク分析と様々なリスク」, 千葉大学園芸学部公開講座食の安全と安心 (2015.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 福岡女子大学 (2015.12)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 宮城大学 (2016.1)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 平成27年度食品衛生危機管理研修 (2016.2)
- 畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, 消費者庁職員向け勉強会 (2016.2)
- 今任拓也, 「疫学の歴史と考え方」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 今任拓也, 「頻度と分布に関する指標」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 今任拓也, 「研究デザイン (1)」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 今任拓也, 「研究デザイン (2)」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 今任拓也, 「偏り, 交絡と因果関係」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 今任拓也, 「スクリーニング」, 帝京平成大学 (2015.6)
- 中村亮介, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー」, 東北大学 (2015.6)
- 齋藤嘉朗, 「市販後安全対策に関する行政施策について」, 帝京平成大学 (2015.7)
- 齋藤嘉朗, 「遺伝子マーカーについて」, 帝京平成大学 (2015.7)
- 齋藤嘉朗, 「がん患者におけるイリノテカン・ゲムシタビンの薬物動態解析及び関連遺伝子多型解析について」,

- 帝京平成大学 (2015.7)
- 齋藤嘉朗, 「重症薬疹発症に関連する遺伝子マーカーについて」, 帝京平成大学 (2015.7)
- 齋藤嘉朗, 「薬物性肝障害と予測・診断バイオマーカーについて」, 帝京平成大学 (2015.7)
- 齋藤嘉朗, 「メタボロミクス解析とその副作用マーカー探索への応用」, 帝京平成大学 (2015.7)
- 佐井君江, 「副作用自発報告データベースについて」, 帝京平成大学 (2015.9)
- 佐井君江, 「医療情報データベースを用いた副作用検出について」, 帝京平成大学 (2015.9)
- 佐井君江, 「医療情報データベースの利活用性について」, 帝京平成大学 (2015.9)
- 齊藤公亮, 「薬学への招待」, 千葉大学 (2015.12)
- 中村亮介, 「医薬品の重篤副作用～ 皮膚毒性を中心に～」, 東北大学 (2015.12)
- 齋藤嘉朗, 「医薬品開発における肝毒性評価」, 東北大学 (2015.12)
- 齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学 (2015.12)
- 齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院 (2016.1)
- 北嶋聡, 「最先端毒性研究の紹介」, 東京大学農学部獣医学科「毒理学実習」特別講義 (2015.5)
- 佐藤薫, 「薬はどのようにして作られるか」, 群馬大学医学部応用基礎医学講義 (2015.10)
- 小川久美子, 「化学物質の安全性はどのように調べられているのか?」, 静岡県立大学大学院月例セミナー (2015.5)
- 杉山圭一, 「栄養保健」, 東京医科歯科大学 (2015.6)
- 広瀬明彦, 「化学物質の定量的リスク評価手法<レギュラトリーサイエンス講座>」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2015.7)
- ## 2. 講演
- 川西徹, 「第十七改正日本薬局方における改正のねらいと今後 - 製法問題検討小委員会での議論に関連して -」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団日本薬局方に関する研修会 (2015.4)
- 川西徹, 「17改正薬局方と今後」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 (2015.11)
- 合田幸広, 「健康食品の分析から見えてきた品質に関する課題と, 機能性表示食品について試験検査センターで出来ること」, 平成27年度日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会講演会 (2015.6)
- 合田幸広, 「生薬・生薬製剤の品質, MSによる成分分析と基原確認」, サーモサイエンティフィックユーザーズフォーラム (2015.7)
- 合田幸広, 「日本薬局方の最近の取り組み: 第17改正日本薬局方, 化学薬品・生薬等を中心として」, 富山最新トレンドセミナー 2015 (2015.10)
- 合田幸広, 「日本薬局方生薬等関連のトピックス」, 日本薬剤師会試験検査センター技術研修会 (2015.12)
- 合田幸広, 「医薬品等の分析・試験法をめぐる話題, 日本薬局方第17改正等について, 生薬等関連の試験法のトピックス」, 第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)
- Goda Y, "Introduction of qNMR to the Japanese Pharmacopoeia (JP) for specification of marker compounds used for standardization of herbal medicines", 2015 FHH Sub-Committee 2 meeting, (2015.6)
- Goda, Y, "Experience in Japan: Analysis and identification of illegal constituents in health food products implicitly advertizing tonic or slimming effect in the National Institute of Health Sciences", International Conference on Illegal Medicines and Adulterated Dietary Supplements, (2015.9)

Goda Y, "Past, present and future of forum of harmonization of herbal medicines (FHH)", 15th FERCAP International Conference, (2015.11)

合田幸広, 「レギュラトリーサイエンスから見た生薬と薬用資源の課題」, 日本学術会議薬学委員会生物系薬学分科会, 科学・物理化学系薬学分科会講演会 (2016.1)

坂本知昭, 「J-GMPの国際統合化及びグローバル品質保証における品質試験検査の役割と展望」, 平成27年度医薬品・化粧品等品質管理研修会 (2015.10)

坂本知昭, 「医薬品製造及び品質保証の国際動向とPATの展望 ～レギュラトリーサイエンスの観点から～」, 第1回製剤と添加剤研究会シンポジウム (2015.11)

加藤くみ子, 「ナノ医薬品のガイドライン案等の策定へ」, 日本薬物動態学会第30回年会 (2015.11)

加藤くみ子, 「ナノテクノロジー応用医薬品の特性評価研究」, 第26回クロマトグラフィー科学会議 (2015.11)

Sakai-Kato K, "Current initiatives for regulatory science of nanomedicines in Japan", The European Summit for clinical nanomedicines 2015 (2015.6)

加藤くみ子, 「DDS製剤の臨床応用に向けたレギュラトリーサイエンス研究の役割」, 日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

加藤くみ子, 「DDS製剤のレギュレーション：ナノ医薬品を中心に」, 大阪医薬品協会技術研究委員会特別講演会, (2015.4)

石井明子, 「バイオ医薬品の開発・品質安全性確保と薬物動態」, 薬物動態談話会4月例会 (2015.4)

石井明子, 「シングルユースシステムを用いて製造されるバイオ医薬品の品質確保に関する提言について」, バイオインダストリー協会 バイオエンジニアリング研究会シングルユース小委員会講演会 (2015.7)

石井明子, 「バイオ医薬品の品質に関する今後の展望」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会・専門コース 医薬品の製造／品質分野で働くヒトのためのエッセンシャル研修会 (2015.11)

石井明子, 「シングルユースシステムを用いて製造されるバイオ医薬品の品質リスクマネジメント」, バイオリジカルズ (タンパク医薬) 製造技術研究会セミナー (2015.11)

橋井則貴, 「糖タンパク質医薬品の開発動向, 糖鎖解析技術の現状と課題について」, 第6回グライコバイオロジクス研究会 (2015.11)

石井明子, 「バイオシミラー開発における同等性／同質性評価」, 東薬工セミナー バイオシミラーの現状と課題 (2015.12)

石井明子, 「抗体医薬品の品質・有効性・安全性とFc受容体」, バイオインダストリー協会 “未来へのバイオ技術”勉強会 Fc受容体 (FcR) を通して考える抗体医薬品の進化と品質管理 (2015.12)

原園景, 「第十七改正日本薬局方において新たに設けられる生物試験法 (糖鎖試験法等) の一般試験法及び参考情報について」, 第15回日本薬局方に関する研修会 (2016.1)

袴塚高志, "Regulations for quality assurance of Kampo medicines in Japan", 中国広東省暨南大学伝統薬物討論会 (2015.6)

花尻 (木倉) 瑠理, 「合成カンナビノイドの法規制と流通実態変化」, 日本法中毒学会第34年会シンポジウム (2015.6)

袴塚高志, 「生薬関連分野における第17改正日本薬局方の改正内容及び最近の国際動向について」, 薬用植物フォーラム2015 (2015.7)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの法規制と流通実態の変化」, 2015年第2回TMS研究会講演会 (2015.7)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグをいかに分析するか」, 第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2015.8)

政田さやか, 「天然物医薬品の安全性及び品質確保に関する研究」, 日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの実態と対策」, 日本分析化学会第64年会シンポジウム (2015.9)

- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの「危険性」をどう評価するか?」, 衛生薬学・環境トキシコロジーフォーラム2015 (2015.9)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグ流通実態調査における質量分析の役割」, 第40回日本医用マススペクトル学会年会 (2015.9)
- 袴塚高志, 「無承認無許可医薬品と食薬区分について」, 茨城県薬剤師会検査センター医薬品研修会 (2015.10)
- 袴塚高志, 「生薬・生薬製剤に関する最近の話題」, 日本生薬学会関西支部秋期講演会 (2015.10)
- 袴塚高志, 「リスク区分に基づいた生薬・漢方製剤の安全な使用について」, 第44回生薬分析シンポジウム (2015.10)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグによる被害を防ぐために」, 平成27年度関西広域連合危険ドラッグ担当者研修会特別講演 (2015.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの流通実態の変化」, 第52回日本犯罪学会総会特別講演 (2015.11)
- 袴塚高志, 「局方生薬に関する最近の話題」, 第31回生薬に関する懇談会 (2015.12)
- 袴塚高志, 「天然物医薬品の品質・安全性確保のための評価法の戦略的開発」, 平成26年度厚生労働科学研究委託費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2016.2)
- 丸山卓郎, 「生薬の遺伝子鑑別と指標成分分析 -酸棗仁, 防風-」, 大阪生薬協会技術部会 (2016.2)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「SFE/SFCを用いた生体試料中乱用薬物の分析について」, 第14回SFC研究会講演 (2016.2)
- 袴塚高志, 「生薬ならびに漢方製剤の微生物試験法の現状と将来に向けての展望」, 第31回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム -第17改正日本薬局方の最新情報を踏まえて- (2016.3)
- 袴塚高志, 「漢方・生薬製剤の現状と伝統医学国際標準化の動向について」, 奈良県医薬品製造販売業等管理者講習会 (2016.3)
- 袴塚高志, 「生薬・漢方生薬製剤の品質管理に係る国際調和」, 日本漢方生薬製剤協会理事会講演会 (2016.3)
- 袴塚高志, 「医療用漢方製剤の承認申請について」, 日本薬学会第136年会 一般シンポジウム エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの創薬に向けた取り組み~天然物医薬品の開発におけるプレイクスルーを目指して~ (2016.3)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの法規制と流通実態変化」, 第89回日本薬理学会年会教育セミナー (2016.3)
- 佐藤陽治, 「再生医療の新しい法規制と海外の規制」, 第5回ヒューマンサイエンス調査報告書発表会がん等の革新的治療法の欧米での進展と再生医療の規制動向 (2015.7)
- 佐藤陽治, 「細胞を用いた再生医療を患者に届けるための法整備と品質・安全性評価研究」, 平成27年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2015.7)
- 佐藤陽治, 「非臨床試験等の扱いの違いについて」, 蒲郡再生医療産業化サミット2015 (2015.8)
- 佐藤陽治, 「再生医療の造腫瘍性試験について」, 蒲郡再生医療産業化サミット2015 (2015.8)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品/特定細胞加工物の品質・安全性確保のための課題」, 平成27年度神戸再生医療勉強会 (第2回) (2015.8)
- Yasuda S, “Japanese regulations for regenerative medicine and cell-based therapy”, KMUTT's Special Seminar on Regenerative Medicine Opportunities in Thailand and Japan (2015.8)
- 佐藤陽治, 「再生・細胞医療製品部の研究紹介—再生医療実用化のための試験法開発—」, 第35回ヒューマンサイエンス基礎研究講習会「国立医薬品食品衛生研究所における研究活動」 (2015.9)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品 (細胞加工製品) に係る規制の紹介とその造腫瘍性評価の考え方」, ヒューマンサイエンス振興財団規制動向調査班勉強会 (2015.9)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品の製造・品質管理に関する規制と試験法の開発」, BioJapan 2015 (2015.10)

- Sato Y, "Japan's Current Standard for Biological Ingredients: Eligibility of Raw Materials in the Global Development of Cell-Based Therapeutic Products", BioJapan 2015 (2015.10)
- Yusa, K, "Viral Safety for Cell-Based Therapeutic Products", Pathogen Clean Asia Summit 2015, The 3rd Annual viral Safety of Biologics Forum (2015.10)
- 佐藤陽治, 「レギュラトリーサイエンスの視点から見た再生医療—細胞の品質・安全性確保のための課題—」, 関西眼疾患研究会 (2015.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品/特定細胞過去物を実用化する上での品質・安全性の考え方」, 第37回日本バイオマテリアル学会大会解説講座 (2015.11)
- Sato Y, "Tumorigenicity Testing for Regenerative Medical Products", DIA Japan 2015 (2015.11)
- Miura T, "The Laws and Regulations for Regenerative Medicine and Cell-Based Therapy in Japan", World Stem Cell Summit 15 (2015.12)
- 佐藤陽治, 「ヒトES/iPS細胞加工製品の実用化についての薬学的視点—細胞の安全性と品質をどう確保するか—」, 名古屋大学第39回創薬科学セミナー (2015.11)
- 佐藤陽治, 「本邦における再生医療等製品・遺伝子治療—新しい規制とその欧米との比較—」, EFPIAバイオ医薬品部会勉強会 (2015.12)
- 佐藤陽治, 「日本における再生医療等製品の規制とその国際比較」, 生産開発科学研究所第120回医工学フォーラム (2016.1)
- 佐藤陽治, 「再生医療等に用いる細胞の品質・安全性評価法の開発」, 日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2016.2)
- 佐藤陽治, 「新法適用後の再生医療を取り巻く環境変化」, 日本医療研究開発機構再生医療産業化プロジェクト第2回ユーザーフォーラム (2016.2)
- 佐藤陽治, 「日本における再生医療等製品/特定細胞加工物の規制とその国際比較」, 食品農医薬品安全性評価センター第23回学術講演会 (2016.2)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質・安全性確保」, 薬学振興会先端創薬科学講座セミナーコース2016 (2016.2)
- 遊佐敬介, 「細胞加工品のウイルス安全性について」, 第16回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2016.2)
- 内田恵理子, 「遺伝子治療用製品の品質及び安全性の確保に関する指針」, 遺伝子治療臨床試験トレーニングコース (2015.7)
- 齋島由二, 「カラーCLの規格適合性と色素局在性について」, 日本コンタクトレンズ協会主催厚労科研勉強会 (2015.10)
- 齋島由二, 「医療機器(カラーコンタクトレンズ)試験法のトピックス」, 第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)
- 齋島由二, 「オゾン - 過酸化水素混合ガスによるエンドトキシンの不活化ならびに殺菌効果」, 第31回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム (2016.3)
- 齋島由二, 「医療機器の実用化促進を支援する施策と生体適合性評価の基本的考え方」, 日本化学会第96春季年会 (2016.3)
- 中岡竜介, 「生体安全性評価について」, 第32回医用高分子研究会講座「マテリアル研究から医療機器研究へ」 (2015.11)
- 中岡竜介, 「バイオマテリアルと安全性試験」, 国立大学法人長岡技術科学大学専門職大学院技術経営科システム安全専攻における特別講演 (2015.11)
- 中岡竜介, 「国際幹事経験談及び医療機器分野国際標準化の現状について」, 平成27年度第2回ISO国際標準化研修—上級編 (2016.1)
- 中岡竜介, 「医療機器に関連した国際標準化状況について:ISO/TC 150(外科用インプラント)を中心に」, 「ISO/TC 150(外科用インプラント)とバイオセラミックスの国際標準化の状況」講演会 (2016.1)
- 新見伸吾, 「レギュラトリーサイエンスの実践(医療機器開発)」, 日本薬学会第136年会 (2016.3)

- 新見伸吾, 「医療機器開発支援ネットワークにおける国立医薬品食品衛生研究所の施策」, 第2回全国医療機器開発会議 (2016.1)
- 新見伸吾, 「医療機器部の研究紹介」, 第35回ヒューマンサイエンス基礎研究講習会 (2015.9)
- 新見伸吾, “Government-private Sector Joint Research Project to Establish and Standardize Immunogenicity Assays in Japan”, 日本薬物動態学会第30回年会 (2015.11)
- 五十嵐良明, 河上強志, 「アレルギー疾患に対する産官学連携を語り合う」, 藤田保健衛生大学「アレルギー疾患対策医療学」講座開設記念講演会 (2015.4)
- 小林憲弘, 「平成27年4月に改正された水道水質検査方法について」, 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー (2015.5)
- 小林憲弘, 「水道水質基準および検査法の最新動向」, 水道水質分析・環境分析セミナー 2015 (2015.6)
- 小林憲弘, 「水道水質検査を取り巻く現状」, NMIJ標準物質セミナー 2015: 健康を支える水の分析と標準物質 (2015.9)
- 小林憲弘, 「水道法と計量標準との関わり」, 平成27年度第1回国際計量研究連絡委員会 (2015.9)
- 五十嵐良明, 「化粧品安全性評価研究へのICP-MSの応用」, プラズマ分光分析研究会第95回講演会 (2015.10)
- 小林憲弘, 「化学物質による飲料水の水質異常への対応」, 第29回公衆衛生情報研究協議会研究会シンポジウム: 飲料水の危機事案に対する関係機関の連携 (2016.1)
- 小林憲弘, 「水道水質検査法における最新の情報と今後の動向」, 平成27年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2016.2)
- 小林憲弘, 「水道水質検査の精度管理について - 検査精度向上のポイント - 」, 平成27年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2016.3)
- 久保田領志, 「平成28年度統一試料を用いた精度管理調査について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2016.3)
- 久保田領志, 「水質検査の信頼性に関する取り組みと最新の水質検査について」, 平成27年度神奈川県水道水質検査機関技術研修会 (2016.3)
- Akiyama H, “Risk Analysis on Food Additives in Japan”, International Symposium on Food Additives: Risk Science, Control Measures and Industry Best Practices (2015.7)
- 稲山浩, 「機能性食品の安全性について」, 2015年度先端食品セミナー - 健康機能と食品 - (2015.9)
- 堤智昭, 「食品中のPCBs分析に関する国内外の状況と実態調査」, 第7回PCB講演会 (2016.2)
- 稲山浩, 「現在のグルテン検出限界値と小麦アレルギー患者の状況」, 自由民主党内勉強会 (2016.3)
- 大槻崇, 「食品中の甘味料分析について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会食品添加物研修会 (2015.10)
- 杉本直樹, 「定量NMRとは? 公定法への導入の意義」, CSJ化学フェスタ2015 (2015.10)
- 杉本直樹, 「既存添加物規格化の今後の課題」, 第46回食品添加物フォーラム (2015.8)
- 杉本直樹, 「核磁気共鳴スペクトル測定法の改正と技術革新」, 日本薬学会第136回シンポジウム (2016.3)
- 六鹿元雄, 「食品安全委員会における安全性評価について」, 育児用品衛生連絡協議会講習会 (2015.11)
- 六鹿元雄, 「器具・容器包装に関する厚生労働行政の最近の動向」, 育児用品衛生連絡協議会講習会 (2015.11)
- 阿部裕, 「乳幼児用玩具の実態調査結果」, 育児用品衛生連絡協議会講習会 (2015.11)
- 河村葉子, 「第80回JECFA会議報告」, 日本添加物協会・日本香料工業会 (2015.8)
- 朝倉宏, 「細菌性食中毒について」, 川崎市市民公開講座 (2015.11)

朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒と, 食肉・食鳥肉衛生に係る課題点」, 全国地方衛生研究所協議会近畿支部細菌部会研究会 (2015.11)

Asakura H, "Detection and removal of *Listeria monocytogenes* in lightly pickled vegetables at manufacture", ICMSF2015 annual meeting (2015.11)

朝倉宏, 「食鳥肉のカンピロバクター汚染の制御について」, 平成27年度食鳥肉衛生発表会 (2016.1)

大城直雅, 「下痢性貝毒(オカダ酸群)の新規制値と検査法」, 第109回日本食品衛生学会学術講演会教育講演(2015.5)

大城直雅, 「沖縄地区のフグの毒性」, 平成27年度日本水産学会秋季大会ミニシンポジウム「フグ食の安全性確保ー日本沿岸フグ類の分類と毒性の見直し」(2015.9)

大城直雅, 「自然毒食中毒から見た沖縄の地域特性」, 平成27年度沖縄県食品の安全安心講習会「自然毒食中毒を防止し, 正しい知識を身につけよう」(2015.10)

大城直雅, 「魚介類の毒-海洋生物毒による食中毒-」, 平成27年度明治薬科大学市民大学講座「自然と健康を考える」(2015.11)

大城直雅, 「下痢性貝毒の新規制値と検査法~自然毒に対する規制値設定の課題~」, 第52回全国衛生化学技術協議会部門別研究会(食品部門)(2015.12)

大城直雅, 「海産生物毒の性状, 危害性, 分析法」, 岩手大学FAMS成果発表会並びに動物医科学系講演会(2016.3)

岡田由美子, 「リステリア・モノサイトゲネスの試験法と妥当性確認について」, 平成27年度(一社)食品衛生登録検査機関協会微生物研修会(2015.12)

岡田由美子, 「リステリア・モノサイトゲネス等の新しい試験法について」, 第28回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会研究会(2016.2)

上間匡, "Topics on norovirus in Japan", 12th Asian Congress of Nutrition (2015.5)

上間匡, 「ウイルス性食中毒について(ノロウイルス・

E型肝炎ウイルス)」, 川崎市一般公開講座「食中毒から身を守ろう~最近話題の食中毒の現状と対策~」(2015.11)

上間匡, 「食品からのウイルス検出法の現状と課題」, 第36回日本食品微生物学会学術総会(2015.11)

野田衛, 「新型ノロウイルスから身を守ろう」, 明治薬科大学市民大学講座(2015.12)

野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 消費者庁:食品に関するリスクコミュニケーション-ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう-(2015.12)

野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と課題」, 日本食品衛生協会「ノロウイルスによる食中毒のための対策講習会」(2015.11)

野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 消費者庁:食品に関するリスクコミュニケーション-ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう-(2015.11)

野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策について」, 平成27年度岩手県食の安全安心リスクコミュニケーション:ノロウイルスによる食中毒, 感染症を考えるシンポジウム(2015.11)

野田衛, 「ノロウイルス食中毒の予防と対策」, 福島県食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会(2015.10)

野田衛, 「ノロウイルス感染症・食中毒対策」, 横浜市講演会(よこはま西・ビル環境協議会)(2015.6)

野田衛, 「ノロウイルス食中毒・感染症の現状と対策」, 日本薬剤師会平成27年度公衆衛生委員会(2015.5)

工藤由起子, 「清涼飲料水中の汚染原因物質に関する話題」, 生活とカビに関する講演会(2015.6)

工藤由起子, 「食品における腸管出血性大腸菌の検査法」, 衛生微生物技術協議会第36回研究会(2015.7)

蜂須賀暁子, 「食品及び環境試料中の放射性物質の分析法」, 第14回表示・起源分析技術研究懇談会講演会(2016.1)

春日文子, 「国際食品微生物規格委員会 (ICMSF) について」, ifia JAPAN 2015食の安全・科学フォーラム 第14回セミナー&国際シンポジウム (2015.5)

春日文子, 「食品安全のリスクアナリシス」, リスク解析戦略研究センター公開講演会「リスク科学のフロンティア」(2015.6)

青木良子, 「欧米でのRMP実施状況, 実際上の問題点, 改善に向けた検討事項等の調査」, 厚生労働科学研究「医薬品リスク管理計画制度の着実かつ効果的な実施のための基盤的研究」総合研究報告書 (H24-H26年度の研究成果) 報告会 (2015.6)

窪田邦宏, 「食品媒介感染症被害実態の推定」, 厚生労働省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会 (2016.3)

登田美桜, 「コーデックスにおける近年注目の食品規格の動き」, ifia JAPAN2015 食の安全・科学フォーラム 第14回セミナー&国際シンポジウム (2015.5)

登田美桜, 「食品安全のレギュラトリーサイエンスで求められる専門性とコミュニケーション能力」, 第42回日本毒性学会学術年会就職活動支援プログラム (2015.6・7)

畝山智香子, 「食品中に含まれる様々な発がん物質のリスクについて」, 福島県消費生活課主催「食と放射能」に関する説明会 (2015.6, 2015.7)

畝山智香子, 「ほんとうの“食の安全”を考える」, 家庭科教職員 (食育担当) 対象セミナー『食育を科学的に考える』(2015.7)

畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』ってなんだろう」, 東京都平成27年度学校栄養職員等研修会 (2015.8)

畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, 第35回 社福協健康食品フォーラム (2015.11)

畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』ってなんだろう」, 杉並区栄養職員研修会 (2016.1)

畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, 山梨県食の安全・安心を語る会 (2016.2)

畝山智香子, 「食品中の化学物質のリスク評価について」,

SRMクロスオピニオンセミナー (2016.2)

齋藤嘉朗, 「重篤副作用発症に関連するバイオマーカーの探索研究進捗状況について」, 日本製薬団体連合会「医薬品の安全対策に関する講習会」(2015.9・10)

齋藤嘉朗, 「重症薬疹関連遺伝子研究の最近の動向」, 日本アレルギー学会第2回総合アレルギー講習会 (2015.12)

関野祐子, 「ヒトiPS細胞由来分化心筋細胞を用いた非臨床試験法開発の展望: JiCSAの取り組み」, 第3回霧島会議 (2016.2)

関野祐子, 「ヒトiPS分化細胞を用いた安全性薬理試験法の先導的な開発と国際標準化戦略」, 第1回AMEDレギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2016.2)

関野祐子, 「ヒトiPS細胞の創薬における実用化医薬品安全性評価の改定に向けた国際協調」, iPS細胞ビジネス協議会第18回情報交換会 (2015.11)

関野祐子, 「ヒトiPS分化技術を活用した医薬品安全性評価法の公定化に求められる検証実験について」, 千里ライフサイエンスセミナー J3 (2015.9)

諫田泰成, 「ヒト iPS 細胞由来の成熟心筋細胞の作製と標準化に向けた次世代評価法の開発」, 第3回霧島会議 (2016.2)

諫田泰成, 「ヒトiPS細胞由来心筋細胞による新しい安全性評価法の大規模検証実験: JiCSAの取り組み」, 第1回AMEDレギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2016.2)

佐藤薫, 「非臨床薬理試験においてヒトiPS細胞由来神経細胞を活用するために必要なこと」, 千里ライフサイエンスセミナー J3 (2015.9)

広瀬明彦, 「許容値の考え方」, 日本製薬工業協会ICH M7, Q3Dステップ4ガイドライン説明会 (2015.4)

広瀬明彦, 「Q3C(R6) Maintenance: 医薬品の残留溶媒ガイドライン」, 日本製薬工業協会ICH 日本シンポジウム 2015 (2015.7)

広瀬明彦, 「PDE値を超える場合の妥当性の説明およびガイドラインにない元素の許容レベル」, 日本製薬工業

協会ICH Q3Dガイドラインおよびトレーニングマテリアル説明会 (2016.3)

小島肇, 「動物実験代替法についての各国の動向および最新研究」, 2015年日中化粧品国際交流協会年度交流イベント (2015.6)

小島肇, 西川秋佳, 「JaCVAM update (日本動物実験代替法評価センター) 進捗」, International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM) Coordination meeting (2015.6)

小島肇, 「動物実験代替法の国内外の最新動向」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム第10回教育セミナー (2015.7)

小島肇, 「国立衛研の立場」, 第3期日本化学工業協会LRI研究報告会 (2015.8)

Kojima H, "Development and validation of alternative to animal testings", ITRI seminar (2015.9)

山田隆志, 「化学物質の反復投与毒性を予測するツール: HESS」, 第3期日本化学工業協会LRI研究報告会 (2015.8)

山田隆志, 「化学物質管理におけるin silico評価手法の活用状況」, 2015年度化学品管理のためのQSARセミナー(基礎編) (2015.10)